

様式第2号

令和7年度 老人福祉センター、地域高齢者交流サロン、高齢者ふれあいセンター 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和6年度

施設のサービス水準の視点コメント

自主事業や各種イベントの開催内容が昨年度より充実していることや、昨年から継続して、YouTube等で施設やイベントの周知を図っており、昨年度より施設の利用者数と利用率が向上に繋がっている。引き続き、利用者ニーズを把握し事業を進められたい。

収支状況 コメント

通信費において、事務室の光回線化に伴う通信費を当初予算額に見込んでいなかったことや、光熱水費において、電気料金とガス料金が当初予算額を上回ったため赤字となっている。全体的に見れば、経費の節約等に努められたため、収支が黒字となっている。今後とも収支状況の維持に努められたい。

市による総合評価 コメント

施設利用者から概ね満足度が高い。
収支状況としては、黒字となっており節約などに努められた。今後も継続して、赤字になっているところも含めて節約や業務改善に努められたい。
継続して、無料Wi-Fiを活用したタブレット教室や世代間交流のイベント等、高齢者ニーズに応じ、創意工夫をした事業を実施している。
初めて、施設と小学校との交流会を実施し、利用者、小学生との楽しい交流会であった。今後もこのような交流の機会等が増えることを期待する。
経年劣化に伴う施設の修繕については、市と連携して、業者との調整や現地確認等、協力いただけた。
これらのことから、概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされているため、B評価とする。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった